

伊藤 丘城 筆



〒780-8014 高知市塩屋崎町1丁目1-10 TEL(088)833-4394 FAX(088)833-7373

<http://www.tosaobog.com>

本年度の同窓会総会は従来と趣を変え、「ホームカミングデー」と位置づけ母校での開催となりました。慣れ親しんだ学舎に500余名が集い、旧友・恩師と大いに青春の思い出を語らい親睦をはかりました。

土佐中・高等学校同窓会 会長 宮地 貫一

# 門をくぐれば 懐かしの 我が母校 土佐校



## 小嶋 清文 (59回生)

私たち59回生のホームカミングデーの企画は「懐かしの映画上映」でした。

20数年前の向陽祭で作成、上映した映画です。

懐かしの教室で、懐かしの旧友たちが目を輝かせながら、10代の自分たちの映像に見入っている姿は感動的でした。

戻りたくても戻れない『あの頃』に一瞬でも連れ戻してくれた母校には本当に感謝しています。

帰る場所があり、待っていてくれる人がいる。その有難さを、同級生のみんなとつくづく噛みしめた一日でした。

## 濱田 知佐さん



## 原田 和人 (56回生)

今回、女性ソムリエの濱田知佐さん(56回生)の特別講座が開催されました。第一人者田崎真也氏の愛弟子で、昨年ソムリエ日本一に輝いた濱田さんの講演は大盛況で参加者にはワインが親しみやすいものとなったようです。

プログラム	
同窓会総会	13:30~14:50 [会議室]
特別授業 特別講座	15:00~15:50 [各教室]
記念コンサート 懇談会	16:00~16:25 [体育館]
	16:30~17:30 [食堂]
懇親会	18:00~ [得月楼 本店]
●開会・校歌斉唱 ●会長挨拶 ●学校近況報告 ●物故会員に默祷 ●議長選出・事業報告 ●支部活動報告・審議等  ■特別授業 恩師による懐かしの「授業」が復活します。 ①古谷 俊夫先生 ②松尾 功様先生 ③土居 徹先生  ■特別講座 2003年10月に開催された「第2回キュエ・ルーズ・ボヌレーソムリエコンクール」で優勝した濱田知佐さん(56回生)をゲストに迎え、特別講座を行います。  サマー・コンサート実現!「現役プラスバンド部」と「土佐高OBバンド」の共演をお楽しみ下さい。  懐かしの食堂メニューや軽食を囲みながら、恩師や同窓生とご飲談下さい。 ●恩師紹介・抽選会・校歌・エール・応援歌等 <small>*学校内での開催のため、アルコール類はお出しできません。ご了承下さい。</small>	
<small>[得月楼 本店] 南はりまや町1丁目17-3 Tel.088-882-0101            会費:5,000円(当日、会場にて徵収します。)            ●ビール・日本酒・皿鉢料理等  <small>*「ホームカミングデー」とご一緒に申込み下さい。</small> </small>	

## 濱田 垣弥 (60回生)

日頃何気なく使っている言葉が心に響いた。「お帰りなさい」という言葉。進行役で関わらせて頂き、校内放送や懇談会で何度も口にしたが、自分で発しながらも、その言葉の持つ温もり、懐の深さを思うと、自然と胸が熱くなった。学校卒業後、十人十色の人生があり、その人生と共に、多くの同窓生が母校に帰ってきた。あの時間を共有でき、改めて土佐校の卒業生であることを誇りに思った1日だった。ありがとうございました。



## 黒岩 泰子 (69回生)

初の母校での同窓会総会「ホームカミングデー」。懐かしい校舎に様々な年代の卒業生が集い合ったあの空間は、まるで時間がタイムスリップしたようでした。あの頃と変わりない校舎の匂いは、私にいろいろな思い出を蘇えさせてくれ、また、集まった人皆で同じ想いを共有できているようなとても居心地のいい感覚にとらわれました。土佐校が自分にとって大切な時を与えてくれたことを改めて感じて胸が熱くなった素敵なものでした。



(3)



古谷先生

出来 尚史 (39回生)

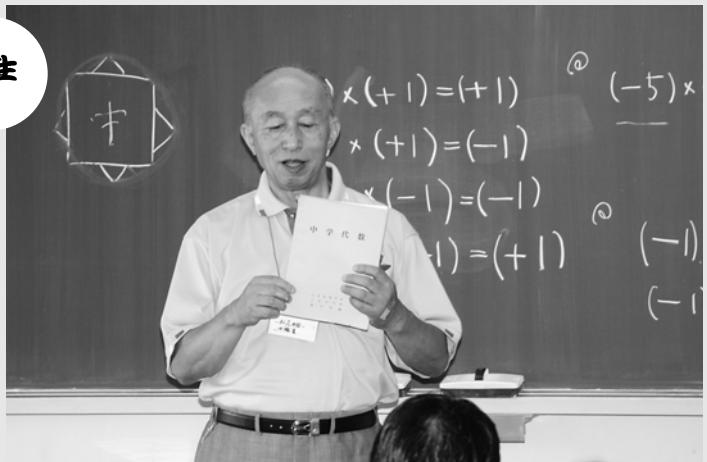
神妙に拝聴しました。古今東西の話題興味尽きることなく、温かみ溢れる先生の話し方も昔のまま。わが人生の原点ここにあり、と感慨も一入でした。ほかの方々も私同様啓発されるところ大であったことと思います。本当にありがとうございました。

松尾先生

黒田 真理子 (44回生)

数学は美である。

この宇宙にはすでにグレイトサムシング(神?)が創った式、型が存在し、それを人間が解き明かして行く過程に惹かれて数学の教師になったと言う功禄先生のお話に感銘を受け「そういう話は中学時代にしちよいてよ! 数学が好きになっちゃったかも……」と思ったことでした(笑)。35年振りの功禄先生の授業は、やはり、グレイトでした。



上久保 (久松) 由佳 (58回生)

待望の土居先生の授業は、3時ちょうどに「起立、礼」から始まりました。

58回生は、小人数ながら、前の方に陣取りやる気満々です。テーマは源氏物語。典雅な中にもエロチズムが漂う、素晴らしい講義に、時間はあっという間に過ぎてゆきます。先生はあの頃とちっとも変わらず、最高の人生訓を示しながら、随所によく練られたギャグをちらばめて、これぞ土居先生! という特別授業をプレゼントしてくださいました。「男も女も、知性や教養や服をまとうことで、性そのものの男・女ではなくなり、名や官位でよばれる」一緒に授業を聞かせて貰いたい娘が、多分半分以上は意味もわからず、先生のこの板書を、資料のプリントにメモしておりました。小3の娘がこの言葉をどのように理解したんだろう? と苦笑しつつ、私も土佐中、高時代、先生の授業から(特に余談から)、人生観や価値観に、いろんな影響を受けたなあと、感慨に浸ったことでした。

ただ、最後に「腰も歪(いが)んで、胃も胃癌(いがん)、そろそろ依願(いがん)退職かしら?」と、

土居先生



ポロリとおっしゃったのに、胸が痛みました。どうぞお身体を大切になさってくださいね。先生のお蔭で、今日もまた一枚、教養を重ね着きました。本当にありがとうございます。

二顧 (三顧は先生が遠慮されたとのこと) の礼で、先生の授業実現に奔走してくれた、スタッフのみなさまにも、心より感謝申しあげます。



筆山の麓  
鏡川の畔…



#### ブラスバンド部OB会 島崎 章 (44回生)

同窓会初の試みである「ホームカミングデー」はブラスバンド部OBにとっても思い出深い一日となった。『母校を会場に、今までとは違う同窓会にしたい。ついでには、ブラバンでOBと現役の合同演奏を頼む』と同窓会実行委員会から依頼があり、快諾した。

2日間の合同練習を経て、8月14日の本番に臨んだが、当日、会場となった体育館は予想以上の同窓生が集まり、現役との息もぴったり合って、演奏のたびに拍手や声援に包まれた。40分ほどの短いコンサートだったが、OBにとっても現役にとっても、濃密な時間を過ごさせてもらった。

しかし、何よりもうれしかったのは、音楽を、演奏を心から楽しんだ後、会場の片づけを率先して手伝っていた部員たちの姿だった。かつて、甲子園での試合終了後、アルプス席のゴミ拾いをした当時を思い出し、部の風土がしっかり根付いていることに感動した。

伝統を守り、その上に新たな伝統を重ねていってくれる後輩たち。それを見守っていた歴代の顧問の先生方…こうした絆が世代を超えて結ばれていく限り、ブラスバンド部のみならず、母校・土佐高の発展は約束されている、と心から感じることができた一日だった。

(5)



### 49回生卒業30周年記念事業 ～ホームカミングデーと合流して 小村 彰（49回生＝在校幹事）

10年前に卒業20周年記念事業として、「母校でクラスマッチ」を実施して盛り上がった49回生。30周年を迎える今回は、「文武両道十 $\alpha$ 」の実践目指して、午前中は特別補習、午後はクラスマッチ、そして夜は大宴会という3本立ての記念事業を計画し、昨年7月から準備して、8月14日その日を迎えました。全体同窓会のホームカミングデーに先だって単独で計画していたのですが、結果的には合流したことで両方が一層盛り上がったように思います。

受付で卒業アルバムからとった（つまり30年前の）顔写真付きの名札をつけて、406教室へ。9時半からホームルーム。池上校長の挨拶の後、平岡・得竹・橋本・井上・西峯各先生から一言。平岡先生以外は現在でも母校で現役の先生。欠席の新階先生も含め、6人の担任の先生がすべて健在であることは喜ばしい限りです。1時間目は藤田保健衛生大学の久保明達教授の「我らが数学的人生」。学校の状況説明をはさんで、3時間目は厚生労働省障害保健福祉部企画課長の村木厚子さんの「福祉の国のアリス」。そして締めくくりは恩師西峯隆博先生の「ブルータスおんしもか」。気がついてみると、100人以上の座席がほぼ満席。広い教室がとても狭く感じられました。

食堂での昼食の後、いよいよクラスマッチ。外部会場のゴルフの他、テニス・ソフトボール・卓球・バドミントン・ソフトバレー・囲碁将棋に分かれて、ゲームが始まりました。さすがにクラス対抗の形をとることができるのは人数は確保できず、ソフトボールとソフトバレーは2チーム作るのが精一杯。しかし、まだまだ動ける人も数多く、女性でもママさんスポーツや趣味のダンスなどで体を動かしている人は、随所に好プレーを展開して、大きな声援を受けていました。実は、同窓生の医師がケガに備えて保健室に待機していました。ただ、けが人を待つだけではおもしろくないと、動脈硬化測定や介護相談にも応じる健康相談室として開設、49回だけでなく、午後からのホームカミングデーに集まった他の回の同窓生も利用していました。

6時半からは三翠園で大宴会。各先生の挨拶の後、乾杯。和やかな懇談の中に、井上先生のギター演奏、元音楽部の女性の合唱、全体同窓会と共通の福引き、同窓生で構成するバンドの演奏など盛りだくさんの企画で、あっという間に夜は更けていきます。最後に校歌を高らかに歌い、40周年記念行事を実施することを満場一致で決定し、めでたくお開き。皆さん、お疲れ様でした。

なお、余談ながら参加者が当初予定よりも多く、参加費や通信費などの余剰金から、後日学校に30万円の寄付ができることもあわせて報告しておきます。これから、○周年を迎える皆さんに参考にしていただければ幸いです。

### 実行委員長 西山 彰一（48回生）

「おかえりなさい」という ほっとするような言葉が聞こえてくる日がやってきた。

学び舎に思いを寄せ、恩師、先輩、同級生そして後輩たちが交流を深める8月14日である。

今から5年ほど前に、当時の同窓会副会長の森木房恵（39回生）さんより「学校で同窓会を開催してはどうでしょう」という提案をいただき以来、様々な課題を多くの同窓生の知恵の結集と教職員のみなさんの献身的な協力で実現した。

晴れ渡った朝、前日に搬入された会場の看板が整然と並べられている。開会の間際まで変更があり、夜を徹して、編集作業を終えた資料のインクの香りが快く感じる。

校門をくぐって、青春の日々に思いを寄せる多くの同窓生が集まってきた。初めてのホームカミングデーは同窓会総会・記念授業・記念講演・記念コンサート・交流会そして得月楼での懇親会の行事で8月14日の午後から夜までの盛りだくさんの内容で多くの出会いそして語らいの場ができた。

さまざまな試練そして楽しき一杯の中學・高校生活を彩る運動会でのやぐらを一堂に集めえた写真展示は学校を取り巻くそれぞれの時代の背景を映し出す作品でもある。

記念コンサートは現役の生徒と卒業生の共同事業として、同窓会の事業として楽しくて、意義深いものであった。

記念授業は、なつかしいというよりは、恩師のユーモアで生徒の心の鍵をあけるすばらしさを思い出すことが出来た。なぜ、こんなに難しい内容が乾いたスポンジが水を吸い込むように吸収できるのだろうか。卒業して長い月日が経って、改めて恩師の素晴らしい語りの魅力にうつとりする。

濱田さんによるワイン講座は食文化の手ほどきと楽しみ方を教えていただき、生活の中に潤いを見出す貴重なヒントをいただくことができた。

懇談会、なつかしい食堂のメニューを楽しみながら、旧交を温める多くの同窓生の宝物は笑顔である。こんなにたくさんの素晴らしい笑顔に出会うことが出来たこと、おそらく生涯にわたって、ホームカミングデーの交流の場をおいて他にはないだろう。

得月楼懇親会は、90人近い方のご参加をいただいた。特に9回生で89歳になられる木村久世先輩に乾杯のご発声をいただきました。ガーナでのよさこいに夢を描く先輩、熱気あふれる会場で交わされる楽しい会話、時の経つのを忘れる交流の輪が広がっておりました。

向陽の空は天高く、すみきった青春の讃歌であります、いつまでも。

おばちゃん、くろ、  
しろ、きいろの  
ミックスにしてくれん？



### 村山 隆司（59回生）

「ホームカミングデー」に企画・デザイン等で参加させていただきました。制作物のビジュアルを何にするか？結局、スクールカラーの「エンジ」、反対色の「ブルー」、そして「白線」。以下、「実行委員会」での一コマを。先輩方からは「ブルー？」との声が（ヨソウドウリ）ありましたが、私は自信を持って（クルシマギレ）「青春のブルーです！」と返答し、納得いただきました。その際、某先輩からの「白い線は、版のズレ？」に、委員全員から一斉に「白線よえ！（爆笑）」と声があがったことも付け加えておきます。

先輩・後輩の垣根を超えた「実行委員会」。母校愛・家族愛…、「愛」に満ちあふれてました。超・楽しかった～♪（Tシャツ等、好評でホッ）

# 本部活動報告

幹事長 安岡 範悦（39回生）

大切なことは土佐高の教育目標、

教育方針を踏まえ学校が目指す教育内容に相応しい教育設備とする事が

大切である、その為には他校訪問や

学内討議を深め、コンセプトを作成

することが必要である。」

## 一、総会の開催

昨年の総会でお話致しましたとおり、本年度は従来のホテルでの開催から母校での開催に変更すると共にホームカミングデーと位置付け「蘇るあの日々、門をくぐれば懐かしの母校」をキヤッチフレーズに準備を続けてまいりました。

本日はこの母校に五〇〇名有余の同窓生が参集し何らかの企画に参加いただいていますし、五〇回生以降の若い卒業生が一五〇名以上参加頂けた事、初参加の皆さんが多い数参加頂いている事に感謝申し上げます。

## 一、土佐中・高校新校舎建築計画に対する協力

十五年九月三日、学校、振興会、同窓会との意見交換の場がもたれました。その中で、西山副幹事長の皆さんは、同窓会役員の皆さん、とりわけ西山副幹事長を実行委員長とする実行委員会の皆さんには大変お世話になりました感謝を申し上げます。本年度も母校での開催を基本として検討したいと考えます。

十五年九月三日、学校、振興会、同窓会との意見交換の場がもたれました。その中で、西山副幹事長の皆さんは、同窓会役員の皆さん、とりわけ西山副幹事長を実行委員長とする実行委員会の皆さんには大変お世話になりました感謝を申し上げます。本年度も母校での開催を基本として検討したいと考えます。

## 一、会員名簿等のデータベース化の実施、会報誌「向陽」の発行

現校舎の耐震性問題の解決、現経済情勢下の借り入れ金利、建築費を考えれば早い時期に建築し、寄付金などで返済する方が得策である。

大切なことは土佐高の教育目標、教育方針を踏まえ学校が目指す教育内容に相応しい教育設備とする事が大切である、その為には他校訪問や学内討議を深め、コンセプトを作成することが必要である。」

との方向性が出されその後、理事会で討議され十六年六月十六日に第一回校舎建築募金委員会が開催されました。その委員として同窓会より宮地貴一会長、岡内紀雄副会長、横田整二副会長、北岡顯史代表幹事、長にはパソコンを、36回生からデジタルカメラを寄贈頂きハード面も充実してまいりましたので更なる活用をしていきたいと考えます。

一、同窓会名簿発行の準備

同窓会では五年に一度見直し、発行しております。二〇〇五年が発行の年となります。

名簿につきましても様々なご意見がありますが今回は従来の製本形式を基本とし、名簿送付希望の有無調査、同一世帯複数送付の回避方法などについても検討を加えたないと考えています。その他詳細につきましては名簿作製委員会を設立しその中で検討していきます。

## 土佐中・高等学校同窓会ホームページ

<http://www.tosaobog.com>



会長	宮地 貴一	(21回)
副会長	溝渕 真清	(32回)
副会長	岡内 紀雄	(34回)
副会長	横田 整二	(40回)
副会長	川崎 康正	(42回)
副会長	北村 恵美子	(47回)
幹事長	安岡 範悦	(39回)
副幹事長	西山 彰一	(48回)
副幹事長	松山 豊	(46回)
副幹事長	小村 彰嗣	(49回)
副幹事長	宮地 貴嗣	(40回)
会計監査	千頭 裕	(58回)
会計監査	森木 将雄	(32回)
会計監査	田中 章夫	(61回)
会計監査	西山 彰一	(48回)
会計監査	松山 豊	(46回)
会計監査	小村 彰嗣	(49回)
会計監査	宮地 貴嗣	(40回)
会計監査	北村 恵美子	(47回)
会計監査	安岡 範悦	(39回)
会計監査	西山 彰一	(48回)
会計監査	松山 豊	(46回)
会計監査	小村 彰嗣	(49回)
会計監査	宮地 貴嗣	(40回)

本部役員

初秋の候、同窓生の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また今年は殊の外台風の接近、上陸が頻繁で、各地で風雨の被害が報ぜられています。皆様のところは如何でしょうか。お見舞申しあげます。

平素は母校の為に格別のご支援、ご協力を賜わっておりますこと誠に有難く厚く御礼申しあげます。去る八月十四日、「2004ホームカミングデー」と銘打つて

五百名近くの同窓生が懐かしの母校に集い、同窓会総会や恩師による特別授業をはじめとする盛り沢山の記念行事が盛大に開催されましたことは、誠に喜ばしく、お祝いを申しあげます。

また、めでたく還暦を迎えた38回生なればに卒業三十周年

の49回生の皆々様からは、それぞれ校舎建築資金として多額のご芳志を頂戴いたしました。心より御礼申しあげます。

このような同窓生の皆様の母校に寄せる熱い思いに感謝申しあげますとともに、母校発展への大きな期待を熱くいたしております。お陰様で本年度卒業生の頑張りも



## 学校近況ご報告

校長 池上 武雄

弓道部の活躍が目立つております。

二学期に開催される講演会として、十一月に二つの講演会を予定しております。まずソニーエンターテイメントロボット「AIBO」(アイボ)の開発責任者である景山浩二さん(50回生)、次いで京都大学総長尾池和夫先生(34回生)に講師をお願いいたしております。正に土佐校ならではの講師の先生方であり、今から

高校県体では、県下五〇校中本校の参加者が男女二九五名と最多人数でした。インターハイでは弓道男子個人で三位入賞、中学弓道全国大会では男子個人準優勝、団体五位入賞と

切った訳で、場所としては通学に便利で歴史のある現在地にと考えておられます。

これまでに、設計を担当する日建設計グループと校内建築委員会なら切った訳で、場所としては通学に便利で歴史のある現在地にと考えておられます。

これまでに、設計を担当する日建設計グループと校内建築委員会なら切った訳で、場所としては通学に便利で歴史のある現在地にと考えておられます。

あり、大学入試もまづまづの成績を収めることができ、土佐校が段々と元気になりつつあるように感じております。先生方も一段と気力を充実して授業やクラブ指導に注力しています。ただいまに今年の

最後になりましたが、校舎の改築についてご報告を申しあげます。

なり次第またご報告させていただきます。

併行して宇田理事長を委員長として、同窓会、振興会、学校からの委員による「校舎建築等募金委員会」も本年六月に発足し、募金活動の具體案づくりの検討も始まりました。

校舎の建築には五〇億円、新グラウンドの造成には三億円、計五三億円の総経費を予定しており、同窓会

設計グループと校内建築委員会なら切った訳で、場所としては通学に便利で歴史のある現在地にと考えておられます。

これまでに、設計を担当する日建設計グループと校内建築委員会なら切った訳で、場所としては通学に便利で歴史のある現在地にと考えておられます。

これまでに、設計を担当する日建設計グループと校内建築委員会なら切った訳で、場所としては通学に便利で歴史のある現在地にと考えておられます。

では資金返済計画のシミュレーションを、更に本校同窓生の建築関係専門家によるアドバイザーチームの結成など、

校舎建築等募金委員会の下部組織として動き始めたところです。同窓会、振興会、学校

が三位一体となつて力を合わせ、この校舎改築の大事業を立派に計画に関する検討会を重ねております。

本年度中には基本設計が固まり、そうすれば校舎の概要が皆様に図としてお示しできるものと考えております。その後実施設計に移り、工事の着工は、体育授業やクラブ活動用地の確保等解決すべき課題から、明

年年末頃になることが予想されます。

工事期間は二年半位かかりそうです。

まだまだ残暑も台風も続くものと

思われますが、同窓生の皆様のご健勝ご活躍を祈念申しあげ近況報告とさせていただきます。

二〇〇四年九月

## 平成16年大学入試 合格の状況

国立大学	現	浪	計	進学
東北大	2	2	2	2
筑波大	2	1	3	3
千葉大	1	2	3	2
東京大	4	3	7	7
東京外国语大	2	1	3	2
東京学芸大	2	1	3	3
東京農工大	1	1	2	2
東京工業大	1	1	1	1
電気通信大	1	1	2	2
一橋大	2		2	2
横浜国大立	2	1	3	3
信州大	1	1	2	1
静岡大	2	2	2	2
名古屋大	1		1	1
滋賀医科大学	1	1	1	1
京都大	7	5	12	12
京都教育大	1		1	1
京都工織大	1		1	1
大阪大	7	4	11	10
大阪教育大	1	1	1	1
神戸大	7	1	8	7
奈良女子大	1	2	3	3
鳥取大	1	1	1	1
岡山大	11	2	13	12
広島大	1	1	2	2
山口大	1	1	2	2
徳島大	5	3	8	7
鳴門教育大	1		1	1
香川大	2	1	3	2
愛媛大	4	6	10	9
高知大	17	10	27	24
九州工業大	1		1	1
大分大	1	1	1	1
宮崎大	1	1	1	1
計	88	56	144	132
昨 年	81	41	122	109

公立大学	現	浪	計	進学
会津大	1		1	1
東京都立大	2	2	2	2
横浜市立大	1	2	3	1
神奈川県保福大	1		1	1
名古屋市立大	2	2	2	2
大阪市立大	1	4	5	5
大阪府立大	1		1	1
兵庫県立大	1	1	2	2
岡山県立大	2	2	2	1
愛媛県医療技大	1		1	0
高知女子大	4	4	4	4
北九州市立大	1	1	1	1
計	13	12	25	21
昨 年	9	8	17	13

## \* 本校の進学状況の特徴

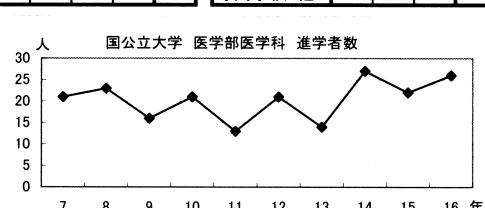
- ①志望は幅広く全国へ
- ②難関校に挑む態度
- ③医学部進学者の多さ

\* Yomiuri Weeklyによる今年の本校の地位

- ①医学部合格力 38位
- ②京大合格力 46位
- ③東大合格力 77位
- ④早稲田慶應に強い高校 73位

県内で全分野にランクされているのは本校のみ

私立大学	現	浪	計	進学
自治医科大学	1	1	1	1
埼玉医科大学	1	1	1	1
獨協大	1		1	1
文教大	1	1	2	1
千葉商科大	1		1	1
国際武道大	1		1	1
東京歯科大	1		1	1
千葉科学大	1		1	1
青山学院大	1	3	4	1
大妻女子大	1		1	1
北里大	1	1	2	2
慶應義塾大	12	9	21	7
工学院大	1		1	1
国士館大	1		1	1
駒澤大	1	3	4	1
芝浦工業大	4	4	2	2
順天堂大	1	1	1	1
上智大	8	8	3	3
昭和大	1	1	1	1
成蹊大	2		2	1
成城大	2		2	2
専修大	4	5	9	4
玉川大	1		1	1
中央大	13	13	26	5
津田塾大	3	1	4	1
帝京大	2		2	1
東海大	1	1	2	1
東京経済大	3		3	2
東京慈恵医大	1		1	1
東京女子大	2	2	2	2
東京電機大	1		1	1
東京農業大	1		1	1
東京理科大	2	12	14	1
東邦大	1	1	1	1
東洋大	4	4	4	1
日本大	7	7	14	7
日本女子大	1	2	3	1
法政大	2	11	13	2
武蔵工業大	2		2	2
明治大	2	10	12	1
明治学院大	3	8	11	1
明治薬科大	1		1	1
立教大	5	4	9	2
早稲田大	19	15	34	17
神奈川大	1	1	2	1
東京工芸大	1		1	1
フェリス女学院大	1		1	1
金沢工業大	1		1	1
愛知医科大学	1		1	1
愛知工業大	1		1	1
その他の				
短大			1	1
留学		2	1	3
専門学校・他		1	3	4
準大学				
防衛大	2	2	4	2
防衛医大	1		1	1



「躍進」ということばを使つてい  
い成果だと思います。前年振るわな  
い

かった東大・京大の合格者は両大学  
あわせて現役のみで二けたの十一名。  
しかも、京大医学部に現浪あわせて  
三名（二名現役）という全国第六位  
にランクされる合格者を出しました。

この京都大をはじめ、東北大、京都  
大、岡山大、徳島大、愛媛大、高知  
大に計十一名の現役生が合格し、浪  
人とあわせると国公立医学部合格者  
は二四名となっています。また、四  
年制大学への現役合格率は約七〇・  
六%で、現役の国公立合格数も一つ

の目安としている百名をわずかでは  
あるが上回り、ここ数年の大学合格  
実績の回復・伸展の傾向をより確実  
なものとした感があります。  
そのことは、「Yomiuri Weekly」  
に記載されたランキングにも現れて  
います。もちろんまだ

まだ満足できるものではありません。  
とともに、多様化する大學入試に対応できるよう、基礎的な学  
力の一層の充実を目指す  
生徒のニーズに合わせたきめ細かな指導を心がけて  
います。一例が高知大  
医学部のA.O.入試対策で  
指導に十分な時間と労力を  
をさいています。二年間  
で定員四〇名に対して十  
二名の合格者を出すとい  
う成果は、こうした努力  
のたまものです。この成  
果をさらに発展させ、全  
国の土俵で戦える力をつ  
けていきたいと考えてい

吉田(土佐)男子初の3位

日本高知が16強入り



# ウラバ 武道

高知新聞  
2004年8月4日(水)  
掲載

## 大舞台で18連中

「一人の戦い」最後に偉業

吉田は、決勝戦で3位入賞した青田(鳥取県立武道館)を倒す。吉田は、決勝戦で3位入賞した青田(鳥取県立武道館)を倒す。吉田は、決勝戦で3位入賞した青田(鳥取県立武道館)を倒す。吉田は、決勝戦で3位入賞した青田(鳥取県立武道館)を倒す。

井上・中山(南)  
ソフトテニス

インターハイ出場  
インターハイ出場



## 高校県体～参加選手数は県内トップ！

- \* 登 山 男子：優勝
- \* 弓 道 男子個人：優勝
- \* サッカー 準優勝
- \* ハンドボール 男子：準優勝 女子：準優勝
- \* テニス 女子団体：準優勝 男子団体：ベスト4  
女子個人单：準優勝
- \* 自転車 団体：優勝1種目、2位1種目  
個人：優勝1種目、2位3種目、3位1種目
- \* 剣 道 男子団体：ベスト4
- \* バドミントン 男子団体：ベスト4  
男子個人複：ベスト4に2組  
女子団体：ベスト8
- \* 陸 上 男子 1600mリレー：2位  
個人2位入賞男女各1名、3位入賞1名
- \* 水 泳 男子 800mリレー：3位  
個人優勝1種目、2位2種目、3位6種目
- \* 柔 道 男子個人：3位入賞1名
- \* 野 球 ベスト4
- \* 卓 球 男子団体：ベスト8
- \* ソフトボール ベスト8
- \* バレーボール 男子：ベスト8
- \* 空 手 道 男子個人組手：ベスト8

- インターハイ出場  
インターハイ出場
- 四国大会出場



## 中学市体～総合したらトップ！？

がんばる  
文

* サッカー	優勝
* 陸 上	女子総合 低学年：優勝／高学年：準優勝
* 水 泳	男子総合：優勝
* バスケットボール	男子：準優勝
* 剣 道	男子団体：準優勝
* ハンドボール	男子：準優勝
* バレーボール	男子：3位
* バドミントン	男子団体：3位
* 卓 球	男子団体：3位
* 野 球	4位

※中学弓道部は全国大会に出場＝個人2位、団体5位入賞！

がんばる  
文

がんばる  
文

## 文化部の活動実績

* 吹 奏 楽	高知県吹奏楽コンクール金賞
* 棋 道	県大会優勝／全国大会出場
* 演 劇	県内コンクール上位入賞
* 音 楽	定期コンサート開催
* 書 道	安芸全国書展高校生大会 書道美術館賞1名／優秀2名

その他、各クラブが地道に活動を積み重ねています。

## Greetings from Tosa's new ALT



I am really pleased to introduce myself: a new and excited member of the Tosa teaching staff. My name is Tom Richardson, and I am from the United Kingdom. In England I live in a small village called Nantwich, which is beautiful, but very quiet! I have three sisters and one brother, who miss me a lot but are hoping to come over and visit me at some point. My hobbies include playing music, acting and traveling, and of course eating fine Japanese food.

I began teaching in Tosa in September and I am already really enjoying it.

I feel that I will be able to get along well with teachers and students, especially after the excitement of the sports festival! It is my hope that during my time here, I can inspire those around me to have a new enthusiasm for communicative English. This in turn will broaden horizons, open minds, and create great opportunities for all of us!

はじめまして。自己紹介をさせていただきます。

私は土佐校に新しく着任しましたALTのトム・リチャードソンです。イギリスの静かで美しい小さな村、Nantwich（ナンツウイッチ）からきました。私は5人兄弟で、3人の妹と弟が1人います。みんな、私がいなくて淋しがっていて、いつか高知に来たいと思っています！私の趣味は、音楽、演劇、旅行、それから、もちろん、日本のおいしい食べ物を食べることです。

9月から土佐で働き始めて、まだ短い時間ですが、もうすごく楽しくやっています！先生方や生徒たちとうまくやっていけそうだと思います。運動会を体験した後、特にそう思うようになりました。私のいる間に、コミュニケーションとしての英語へ新しい意欲を、皆さん方に持っていただけるよう頑張りたいです。そうすることで、私たちみんなが視野を広げ、心を開き、未来を創りあげていくことができるようになると思います。



# 支 部 だ よ り

## 関東支部

泉谷 良彦（29回生）



という身近な？話を伺いました。

百年毎にやつて来る南海地震のデータを聞きながら、自分には関係ないと思いつつ、一九四六年の大地震の惨害を思い出したことでした。

池上校長からは学校の情況報告があり、耐震構造に問題のある現校舎の建て替えを提起され、協力の要請がありました。

引き続き福留史紘氏（74回生）のヴァイオリンカルテット演奏、また濱田憲三郎氏（二四回生）の指導によるはし拳大会など盛会裡に代々木の森は更けていきました。

立派な諸先輩がおられる中でご指名を受けましたことは身に余る光榮でありますと共に、その重責を痛感しております。宮地前支部長には全て及ぶべくもありませんが皆様の御協力を得て良い同窓会に育てて参りたいと思います。

今年の総会は「四の回」の企画で執り行われ、諸報告の後、記念講演は尾池京都大学総長（34回生）の『二〇三〇～四〇南海地震に備える』

我々特に学生諸氏はいずれの状況・

環境に置かれようと常に真理を求め、理想に燃えて学問の基礎をしっかりと身に付けて明日に備えなければなりません。

今、手元に中城正堯氏（30回生）から送られてきた昭和五年十一月付けの土佐中学校要覧があります。これを紹介して御挨拶と致します。

本校ノ特ニ留意セル点

- 一、個人指導ニ重キヲ置キ教授能率ノ増進ヲ計ルコト
- 一、天賦ノ能力ヲ發揮シ自發的修養ニ努メシムルコト
- 一、堅忍剛毅ノ性格、健実ナル思想ヲ養成スルコト
- 一、責任ヲ重ンジ好ンデ勞ニ就ク
- 一、運動ヲ奨励シ養護上ノ注意ヲ習慣ヲ養フコト
- 一、運動ヲ奨励シ養護上ノ注意ヲ怠ラズ以ツテ体位ノ向上ヲ計ルコト

先達の声に耳を傾けましょう。

同窓会本部の皆様。お元気ですか。暑い最中、八月十三日の本部支部連絡協議会、十四日の同窓会総会、2004ホームカミングデーに参加させて頂き有難うございました。今回から、母校開催に加えて、同窓会総会、特別授業、記念コンサート、食堂での懇談会等盛り沢山の行事で、楽しく充実したアツというまの土佐高青春タイムを過ごさせて頂きました。特に、今までの総会で顔見知りの先輩・同期・後輩の方々に加えて、ほとんどの顔馴染みのない若い同窓生の方々が数多く出席されて、現役同様、活気ある同窓会に様変わりして嬉しく感じました。これもひとえに、今回の同窓会を企画実行された、宮地会長、池上校長始め、安岡幹事長、千頭会計幹事等本部役員、学校関係者の皆様のご尽力の賜物と厚く感謝申し上げます。私ども県外に在住する卒業生にとつては、今回の様な同窓会総会が母校で開催されるならば、窓会総会が身近に感じられ、参加者も多くなると思います。是非継続して頂けますようお願い申し上げます。

## 東海支部

幹事長 村山文世（41回生）

さて東海支部の近況をお伝えいたします。東海支部最大の行事であります、今年度の支部総会は、五月二十二日（土曜日）午後五時半より、

JAPAN AIRPORT) も一月十七日開港の予定です。名古屋近辺も大いに様変わりして景気も上向く事と期待しております。

小泉首相が金総書記との拉致家族問題に関する会見が始まる頃、名古屋駅東五分の所にあります、ホーテル・キャッスルプラザで四十名の参加者を得て、開催致しました。同窓会本部からは、溝渕副会長、母校からは池上校長先生に御出席いただきました。池上校長先生からは、土佐高校の今年度の健闘した大学入試結果、校舎建設の準備状況等の活発な現況の報告を頂き、出席者一同力強く感じました。また、土佐高校、本部、

関東支部、東海支部のHPにご尽力頂いている、関東支部筒井常任幹事会のうちに終了致しました。来年度も同じ時期に同じ会場で開催の予定を致しております。

又東海支部は、本年度に役員の交代があり、長い間支部発展にご尽力された、南事務局長（37回生）、竹原幹事長（36回生）がそれぞれ顧問に就任されて、代わって新たに、神宮事務局長（44回生）、村山幹事長（41回生）、天造副幹事長（52回生）が僭越ながら、活動させて頂く事になりました。よろしくお願ひ致します。

最後になりましたが、同窓会本部の皆様のご健勝と、益々のご発展を祈念して支部だよりとさせて頂きます。

八月十四日の午後、ン十年ぶりに母校、土佐高をおとずれた。同窓会、夏に帰省することは増えたものの、いつも市内でも飛びつきりのホテルの宴会場を訪れるのみで、母校に足を踏み入れるのは卒業以来であった。

校門を入ると、すぐに校長先生も同窓会長の宮地大先輩も、同窓会幹部の皆様がそろいの土佐高をデザインしたTシャツできびきびと立ち働いているのにびっくり。「ホームカミングデー」と名をうつて、母校を尋ねていただこうという大イベントである。

体育館ではプラスバンド部の演奏会、さらにOBも加えてのコンサート。驚いたのはプラスバンド部が女の子メジャーであったことである。大阪に出てからというものの、医者のいるひとが圧倒的に多く、そのため説明を要したものだが、母校のプラスバンド部は様変わりして「スティング・ガールズ」のようであった。食堂でいただいたのは、昔ながらのうどんと中華そば、確か昔は同じ出汁を入れていたように思うが、それも変わっていない？

校舎の玄関は、私が過ごしたときは反対側に位置しており、とうとうあのメタセコイアの大木を見ずに帰つてしまつた。これはまた次回の楽しみにしておこう。

帰省直前に、ごめんなはり線にありがとう駅ができたという話を聞いた。昨年は高知りようま空港と名前が変わつたというし、はりまや橋でもあり、の合理性が土佐人の値打ちだろうか？飛行機のなかで笑つてしまつた。



川崎 美栄子（42回生）

筆山のもと  
ふたたび



## 広島支部

沖田 道子（41回生）



今年八月の、土佐高校での初めてのホームカミングデーに、広島支部より参加しました。奥様と二人(2)五十九(3)五十ヶ国以上訪問を目標に海外旅行を始め、平成十五年二月の南極大陸での目標を達成。

完璧に進行しています。初めての試み、どんなにか大変だったことでしょう。ご苦労様でした。

特別授業の全教室では、どちらが先生かと見間違うような生徒が一番前の座席に陣取っています。

私は、ソムリエの濱田知佐先生(56S)の教室にいました。彼女は日本一のワイン教室を育てた美しい方で、魅力的な授業です。

記念コンサートも、現役とOB両ブラスバンドの共演で盛り上がり、老若男女?のダンスチームが登場。懇談会では、全三色の麺をフレー

一言いながら食べます。得月の懇親会も、とっても和やかでした。

卒業生の母校への訪問をこんなに来る限りの努力をしていただいている

て、すばらしいことです。

次に昨年と今年の広島支部総会の事をお伝えします。昨年の講演は関東支部山中和正氏(24)の「わたくし流、旅の楽しみ方～世界遺産を旅して」でした。山中氏は退職後「(1)

奥様と二人(2)五十九(3)五十ヶ国以上訪問を目標に海外旅行を始め、平成十五年二月の南極大陸での目標を達成。

プロジェクトですばらしい自然や遺跡、そして仲の良いご夫婦の姿を、沢山見せていただきました。土佐高卒業生という共通項だけで、今横に縦に交際が広がり、地域も越えた交流に発展します。

九月に入り、広島支部は、沖修一支部長(40T)と山崎迪子事務局長(40T)の元、十一月六日(土)に開かれる平成十六年度支部総会の準備中です。今年は関東支部の幸徳正夫氏(37H)の「笑門来福～言葉は力」という講演会を予定しています。関東支部の二宮潔(49T)氏から「中身はすごいよ、きっと。この私が保証しますきに！」と、メールが届きました。「歳を重ねて清く正しく美しく生きている現在」が語られるの

でしようか？翌日は幸徳氏を囲んで江田島ツアーレの計画もあります。歓待していただき御礼申し上げます。

皆様、広島支部をお訪ね下さい。

## 香川支部

土田 哲也（32回生）



香川はといいますと、JR高松駅北側にこの春サンボートシンボルタワーが完成・オーブンしました。三十階建ての高層棟と低層棟から成り、接見られるのはいいことだと思います。

異常気象といわれ始めて何年も経ちますが、今年の台風の上陸の多さにはうんざります。日本列島が熱帶化するという説が実感されました。十六号による高潮で海岸近くはもとより、市街地にも広範囲に海水が溢れ多くの被害が出ました。台風の被害は全国に及びましたが、被害にあられた同窓会員の皆様にお見舞い申し上げます。

支部活動が軌道に乗りほつとしつつも、今後就職や転勤で新しい会員が増えることを願っているこの頃です。同窓、後輩の皆様の御健勝を祈念して駄文を終わります。

層棟には企業のオフィス、商業施設が入り、低層棟にはホールなどイベント施設が入っております。往年の高松駅頭を知る人ほど変貌振りに驚かれます。

今年の支部総会は、七月三日(土)、

そのシンボルタワー十七階で開催しました。

母校、本部・四支部からの

御来賓七人と、支部会員四十四人

出席できました。

多くの関係者の

皆様に厚く御礼申し上げます。

教室での懐かしい授業、体育館での迫力あるプラスバンド演奏もよかったです。セレモニー中心の行事から脱皮した企画に感心しました。今後はこ

ういう形になるのかどうか分かりま

せんが、多数が参加でき、母校を直

接見されるのはいいことだと思いま

す。

# 振興会活動報告

会長 国見 直樹

実りの秋、土佐中・高等学校同窓会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、去る八月十四日、土佐中・高等学校同窓会史上初となる、「ホームカミングデー」と銘打った同窓会総会が盛大に開催され、大成功を収められたことは、誠に記念すべき日であつたと思います。

私も、当日は、同窓生の一人として参加させていただきました。同窓生の笑顔の中に「土佐の卒業生でよかった、今も昔も変わりない母校だった。」という満足感や誇りを感じ取り、非常に嬉しく思えた一日でした。我々在校生の保護者の一員として、今回のイベントを企画され運営された同窓会の皆様に感謝いたしました。

このような新しい試み、チャレンジは、常に組織体にとって必要不可欠なものです。我々振興会の組織体においても、伝統を大事にした上で、組織体として生き生きしている事、若さと元気さに溢れている事」は、激動の時代を乗り越えていくために欠かせないことです。振興会の本部

役員も次々と子供たちが卒業され、平成十六年度、半数以上の役員が入れ替わりました。今まで培った成果を活かしつつ新しい組織でステップアップしてゆきたいと思っていますので、今後とも宜しくお願ひ致します。

土佐校八十数余年の伝統あってこそ、今の土佐校が在ります。その伝

統の中で自分達の子供達が育つてく

れています事が、我々保護者には何に

も替えがたい喜びです。池上校長先

生がご就任されて三年目に入られて

おり、学校の取り組みにも新しいも

のが出てきて、効果も見え、結果も

出ています。振興会は連絡協議会を

中心として学校と絶えず話し合い、

連携しあえる関係にあります。これ

が何より学校を信頼する元になつて

いると考へています。

これからはハードの面でも新校舎建設が現実的になつて参りました。

この時期の校舎建設は、予想される

地震から子どもたちを守り、更には、

少子化が進む中での競争激化や高度

情報化時代を乗り越えて、子どもた

ちと土佐校が更にステップアップす

るため欠かせません。振興会は、ま

すます学校との連携を密にする必要

がでてくる事でしょうし、また、一

層の協力体制を組んで、この大事業

を軌道に乗せなければならないと考

えています。同窓会会員の皆様にもご理解を賜り、是非ともご協力のほどを心よりお願い申し上げます。

## 振興会役員名簿（平成十六年九月）

会長	国見 直樹
副会長（総務）	北村恵美子
副会長（進学）	田中佳代子
副会長（広報）	徳永 俊一
監事	山本 志雄
監事	久松 朋水
理事	久 直史

顧問	杉本 雄一
顧問	毛山 章
顧問	西山 彰一
顧問	中澤 陽一
顧問	竹村 晴光
顧問	南 詹子
事務局	千頭 裕

## 編集後記

同窓会史上初の母校での開催「ホームカミングデー」の特集号は如何

でしたか。開催がいいよ決定し、

実行委員の末席に名を連ねた時の言

いようのない不安感。果たして事成

るのか……しかし、実行委員会の回

数を重ねる毎に不安はワクワク感へ。

年齢バラバラの委員達ではあるが、

そこは同じ学舎で同じ空氣を吸つた

者同士、協力一致して和やかに進む。

それにしても土佐校パワーはすご

い！発想力、行動力、そして愛校心。

全国の同窓生、池上校長先生はじめ

土佐中・高校幹事の先生方の協力

なくしては為し得なかつたこの歴史的行事に参加できることを私は忘れ

ない。報恩感謝。（北村恵美子・47回生）



# 大運動会開催

9月25日



今が輝き 未来をひらく

## 土佐中・高等学校



平成15年度高知県のびのびパソコン作品展最優秀賞受賞 「一生の思い出」～本校中学1年生の作品

みんな あつまれ

### 学校説明会のご案内

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 高校説明会 | 10月10日(日) 午前10時 本校 |
| 中学説明会 | 10月24日(日) 午前10時 本校 |

佐川地区 10月16日(土) 午後6時 土佐塾佐川教室  
幡多地区 10月17日(日) 午後2時 中村市社会福祉センター  
安芸地区 10月17日(日) 午後2時 安芸商工会館

**土佐のシンボル  
運動会**  
9月23日(祝)  
本校竹島町グラウンド  
一般の方・受験生大歓迎!  
駐車場はあくまでも  
公共交通機関をご利用下さい



歴代運動会のパネルを作りました。  
学校に保管します。  
貸し出しありOKです！

今年度生徒募集用ポスター（広報部担当）  
平成15年度高知県のびのび作品展最優秀賞受賞  
「一生の思い出」～本校中学1年生の作品